

グループホームわかば

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	17	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の運営理念を作り、勤務前に各自確認し運営理念の実現に努力している	1	運営理念を玄関・事務室に掲示している
		2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常的に職員間で理念を共有し話し合っている	1	運営理念を玄関・事務室に掲示している
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホーム内には理念を掲示している 家族の方にも面会時やホーム便りなどを活用して運営理念や活動内容をお話している	1	運営推進委会議を3ヶ月に1回開催し地域の方たちとともに運営理念や活動内容について話し合っている家族会も推進会議開催後に同日開催している
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	乳児院との定期的な交流や近隣の方たちに気軽に立ち寄りいただける環境づくりをしている 近隣の商店を利用して行事食や日用品の購入をはかりお付き合いしている現在の所不十分であると考えている	1	入居者対象の夏祭りには近隣のご家庭にピラを配布しスイカ割りや花火をともに楽しんだ
	5	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	校区運動会や地域防災訓練などの活動には積極的に参加している	1	より積極的に交流機会を増やしていきたい	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
理念に基づく運営	2	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営母体が地域医療の一翼を担っている、患者の方の地域の要望もあり居宅介護支援事業所・通所介護・共同生活介護と順次開設し、医療と介護の複合した事業体として地域高齢者に安心感をもたらす役割を事業総体としてもっている	1	常に改善志向で日々の業務を推進していきたい	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	4		
		7	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	公費で事業は運営されており、事業内容についてその内容を公開する義務を負っていると考えている、職員間で定期的にミーティングをおこない指摘された件については事業内容など改善策を話し合っている	1	常に改善志向で日々の業務を推進していきたい	
		8	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実績や計画について話し合ってもらい、地域行事などの各種提案を受けている、地域委員の協力でボランティアに来ていただいたこともある、自主防災訓練には委員の協力のもと隣組の一員として参加した	1	さまざまに協議していただけるよう資料準備をおこないたい	
		9	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	推進会議への包括ケアマネの参加、情報の提供や提案を受けている、また制度上のことで疑義が生じたとき、常に監査指導係に相談し、自らの判断で勝手に行動しないようにしている	1	ケアマネの訪問や便りの配布を通じて、情報交換や交流機会を増やしていきたい	
		10	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	定期的に研修に参加し、それらを職員間で共有しあっている、また面会時などを通じて相談に応じている、現在当該制度の活用者はいない	0		
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的にミーティング、施設内研修で虐待防止について学び、それらを日々の業務に活かしている	1	利用者対応のあり方などの具体的事例を通じて虐待問題について常に考えていきたい	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用				
		4					

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	4	
理念に基づく運営		12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者の生活ぶりや設備について、実際見ていただき、十分な理解をしていただいた上で契約している	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の利用者の要望や苦情については聴取した職員が連絡ノートや申し送り、ミーティングなどで報告し、対応について全職場的に考えている	1	プラン作成時には利用者の意見や要望を取り入れている
	4	14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回は家族に来所していただくようにし、日ごろの様子についてお話している、便りで行事やホームの出来事についてお知らせしている 金銭管理については月ごとに領収書を添付して収支を報告している、怪我や体調不良についてはその都度報告している	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	委員会、担当を設置して対応している苦情の流れについては、フローチャート・担当を掲示して周知をはかっている、家族会において報告をおこなったり、意見を伺っている	1	家族会は3ヶ月に1回開催している
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職場会議や業務改善会議を月1回開催し報告提案の機会としている	1	運営者主催 業務改善会議 月1回 管理者主催 職場会議 月1回
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員の急変時や利用者の急変時に対応できるよう緊急連絡網を整備している 行事などは全員出勤体制が組めるよう配慮している	1	必要に応じてパート職員を配置している

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理念 の実 践 制 度	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は職場の活性化や人材の関係で行われるが、必要最小限にとどめ利用者影響が最小限ですむように心がけている離職に当たっては1ヶ月前予告とし、職員にも周知徹底している	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	3	
	5 人材 の 育 成 と 支 援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用に当たっては性別・学歴・年齢・経験に左右されない、複合事業所であるため適材適所の配置が可能である スキルアップのため研修機会を提供し質の向上に配慮している	1	今後も配慮していきたい
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	地区公民館のお知らせを掲示したり各種案内を回覧し、講演会などへの積極的参加を促している 福岡県高齢者グループホーム協議会の研修会に職員輪番制で参加している	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自己学習・研修を奨励しつつ、本人の意欲や事業所方針に従い研修機会を提供している福岡県高齢者グループホーム協議会の研修会に輪番制で参加している	1	事業所主催で講師を招き研修会を実施している
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度より福岡県高齢者グループホーム協議会に加盟し、交流機会を増やしている	1	福岡県高齢者グループホーム協議会に加盟
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	生き活きとした職場環境、気軽になんでも話しあえる人間関係の維持に配慮している 懇親会も定期的にもって円滑な関係の維持に努めている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の特性に応じて、各種の役割を分担させ、自らの仕事に責任と自覚が持てるよう配慮している仕事の上の行き詰まりには積極的に話し合うようにしている	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	7	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	4	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	実際に見学していただき受容と傾聴を基本とした対応を心がけ、不安を軽減しながら、質問や疑問にわかりやすく答えるようにしている	1	認知症の理解を深めていきたい
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本氏・家族も含め入所前に面接聞き取りをし、入居後も時間をとってよく話を聞くようにしている、特に入居後の不安な時期はより多くの時間をとっている	1	担当者とケアマネが同席し対応について、本氏・家族とよく話し合う相談・援助技術を深めていきたい
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本氏と家族が必要と訴えと、本当に必要な支援を見極める	1	インテーク面接用に簡略なアセスメント票の活用をしている
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	経歴・健康状態・認知の状態・周辺症状について本氏家族から聞き取り対応のあり方について職員間で確認共有し、初期1ヶ月間はアセスメントに重点を置く、なじみの家具や写真を持参していただき、生活に継続性をもたせる、関係の急激な途絶の無いよう家族の協力を得る、場合によっては家族も宿泊してもらう	1	環境や関係に早くなじめるよう職員が仲介したりして、スムーズに生活に溶け込めるよう配慮している センター方式や独自様式のアセスメント票により本氏把握に努める
	2	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	3	
係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 関 係 づ く り	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に家事をしたり、レクリエーションに参加したり、昔のことなどを聞き取るさまざまな特技や経験があり、そこから人となりの理解をしたり、また学ぶことも多い	1	何も強制されないゆったりした関係のなかで言葉にならない、本氏の気持ちを汲み取っている	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	最低月1回程度の面会は必要事項としてお願いしている、また気分的に落ち着かれないときは家族の協力をお願いしている 外部診察の場合は家族同行でお願いしている 家族会において近況を伝えている	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	センター方式のアセスメントの記入に協力をお願いしている 本氏の要望や希望を代弁することもある 便りなどを通じて、また面会時には時間を作って日ごろの生活ぶりを伝えている	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人・知人が来られた場合は自室や和室で過ごしていただけるようにして、心のかもったおもてなしを配慮している	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の話し合いの橋渡しになれるよう配慮している 皆様の共通の話題を提供して楽しく時間をすごしていただけるよう配慮している	1	レクリエーション日を設定して、ゲームや歌など楽しく過ごせる時間を設定している また 時間を見つけては他作業や折り紙・歌などの機会を提供している
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去された家族より年賀状や季節の便りが届く、ホームからも連絡を取っている	1	入院等の場合は、スタッフが見舞いに定期的に行っている
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	11	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	3	
	1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式や独自アセスメント様式を活用し、本氏が何を望み、何をしたいのかをまず考えるようにしている	1	本氏の望みに沿うような形でより良い生活をしていただけるよう常に努力していきたい

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本氏の生活歴、家族構成、趣味などを把握して、本氏主体のアセスメントを行っている、また家族の協力も得ている	1	本氏の望みに沿うような形でより良い生活をしていただけるよう常に努力していきたい
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員間で情報を共有（連絡ノート・申し送り）定期的に評価をおこなっている	1	本氏の望みに沿うような形でより良い生活をしていただけるよう常に努力していきたい
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	3		
	2 介護計画の作成と見直しのための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者会議にて目標を立案し、本氏・家族に説明同意を得てから計画を策定している	1	職員が2名程度の利用者を担当し、モニタリング・評価・立案するようにしている
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画はモニタリングし、担当者会議にてアセスメントとして集約し、その時々利用者にあつた内容とするため加除修正を行っている計画書の見直しにあたっては本氏・家族の要望や主治医のの所見を得たりしている	1	モニタリングを実施して担当者会議を開催して評価している
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録ファイルがあり、利用者のかたの変化を継続的に見ることができる、また利用者の方の言葉をそのまま記録して生き活きた状態を記録している	1	記録記入について、より深めていきたい
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	1		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	屋外散歩や買い物が必要に応じて随時行っている、ドライブやお出かけ外食も随時行っている	1	より充実させていきたい

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	4	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域公民館の協力を得て、ボランティアを依頼したり、公民館便りを得て行事に参加したりしている	1	各種地域行事に参加している 地域運営推進委員の情報提供も得ている 地域自主防災に地域住民の一員として参加した
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	口腔ケア・歯科往診を週1回受け入れている、また情報提供も受けている 地域ケアマネとも情報交換を行っている	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域運営推進委員会に参加していただき意見や情報の提供を受け、ケアの向上に活かしている	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診に同行し、小さなことでも主治医に相談し指示を得ている	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	急変時の協力病院への受診入院、認知症専門病院への入院治療を受けられるよう支援している	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	隣接する医院の医師や看護師に医療的なことを相談している、ホーム内での医療的ケアのあり方についてアドバイスを求めることも多い	1	運営母体の看護師からマニュアル作成や医療的対応のあり方についてアドバイスを得ている

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力病院S、外科病院F、リハビリ施設のあるN病院との連携を図っている病院のソーシャルワーカーとも情報交換し、退院後の支援についても話し合っている	0	
		49	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	急変時は、必ず医師の指示を仰ぎ、家族への連絡は密に行い、各指定病院に対応していただく	1	前回の外部評価時に指摘を得て「重度化対応指針」を策定した。ただ、本氏・家族に不安と混乱を与えかねない内容であり、説明・同意は今年度事業として慎重に進めている
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	各指定病院との連携を密にし、急変時に受け入れてもらっている、まあ入院時の状況等の情報を得てホームでの生活に活かしている	1	前回の外部評価時に指摘を得て「重度化対応指針」を策定した。ただ、本氏・家族に不安と混乱を与えかねない内容であり、説明・同意は今年度事業として慎重に進めている
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本氏・家族をふくむ関係者間で事前に協議しスムーズに住み替えできるよう配慮している	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	16	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	15	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3		
		52	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	礼節ある態度で接して本氏の視点にたったさりげない介護を心がけている。入居時の個人情報使用同意書に基づいて、必要最小限の使用にとどめている。記録に当たっては事実を主観や不必要な情報を交えずに記載するように配慮している	1	個人情報使用同意書 個人情報保護規程
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	独自の表現で表される希望・思いを受容的に受け止め、意思決定の過程に寄り添い支援している	1	認知症の理解を深め、今後も意思決定の過程を大切にしていきたい		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースや希望に沿って支援していくことを基本とする 9人の思いをいかに実現するかは耐えざる課題であり職員間で日々情報交換し話あっている	1	日々業務に活かせるアセスメントの充実を図っていききたい
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	3	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理美容にて散髪、希望者には近隣の理美容室を活用している服装もスタッフがさりげなく支援して選ばれる	1	お肌のお手入れやお化粧品したりオシャレして外出できるよう支援している
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普通食を基本としつつも、状態の変化に合わせて、刻み食、ミキサー食、とろみを併用しているもやしの根きりや盛り付けなどできる部分でお手伝いしていただいている	1	お祝いなどの特別食には希望を取り入れ散らし寿司、弁当などを提供している 利用者の希望に応じて、近隣の業者から出前を活用して、日ごろ味わえないものをとれる機会を提供している
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の注文があった場合には対応している一緒にいくこともある	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各利用者の排泄リズムに応じて、必要あるときはトイレ誘導を行い、汚染を減らす努力をおこなっているドアを開けての排泄介助をおこないプライバシーの保護にも気遣っている	1	個々の排泄リズムを十分に把握して、適時トイレ誘導を行い、汚染の防止に努めたい
59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	月～土曜日の14:00～16:00を入浴可能日とし、入居者の体調や希望により実施しているおむね週3回程度が入浴回数、季節により夏場は増えることもある	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入居者1人1人の疲労や緊張の度合いに応じて和室・居室・リビングなどで休んでいただけるよう環境づくりに配慮している 夜間は静かな環境を保ち、室温の調節もこまめに行っている	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食前のごしらせや盛り付け、洗濯物たたみなどの役割や月2回程度の習い事での外出支援など行っている洗濯物を乾すときや植物のみずやりなど、さりげなくお手伝いをお願いし、外気浴をしていただいている	1	天候の良い日の散歩などその空気に触れる機会を多くしたい
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理はスタッフでおこない 買い物・レクリエーションの時は各自お金を支払っていただいている	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	友人の送迎にて習い事に行かれ外出を楽しまれる方もある、戸外へ出ることを希望されるかたには職員付き添いで近隣や敷地内の散歩や近隣商店での買い物支援を行っている	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月1回外出を実施し、家族の方にも参加を呼びかけを行い出席していただいている、また季節ごとの野外出行を行っている	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に電話をかけ楽しんでいる方もある字のかけない方には宛名書き支援を行うよう配慮している	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	訪問された家族の方には、居室・リビング・和室での談話を楽しんでいただいている、場合によってはスタッフも共に加わることもあるスタッフは丁寧な接客を心がけ、お茶などの心のこもったおもてなしを心がけている	0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)	自己評価 8項目・外部評価 2項目	4	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルに基づき、拘束による入居者の精神的・肉体的苦痛について理解し、拘束のないケアを目指している	1	つい知らないうちに犯してしまうのが拘束であると認識し、広範多岐にわたる拘束の種類を理解し、常に基本に立ち返って拘束ゼロをめざして自己点検していきたい
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠せずドアセンサーにて対応している、戸外へ出ることを希望される入居者があれば、付き添い見守りして安全に配慮している	1	玄関網戸にもセンサーをつけたい
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中に見守りが不十分にならないよう、職員同士が声を掛け合い、所在が確認できるようにしている 夜間は定時巡回し、無自覚な立ち上がりによる転倒リスクの高い入居者にはセンサーマットや靴に鈴をつけて行動が把握できるようにしている、また緊急時にベッドプザーも活用している	1	安全確保のため申し送りでは心身の状況についての確に情報伝達している
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤・薬剤には鍵つき保管庫で管理している刃物類は夜間事務室内に保管し安全に配慮している 持ち物については本氏や家族と相談しながら保管方法について決めている	0	
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故についてマニュアル化し見守りや介助を入居者の状態に応じて行っている	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変・事故発生時マニュアルを作成し各自ファイルをもっている事務室に対応要領を掲示している	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導により、年2回避難訓練を実施している	1	災害には地域との協働が欠かせず、地域運営推進委員会の地域委員を通じて、地域とのつながりを深めていきたい 地域自主防災にも地域の一員として参加した便りを近隣に配布して「わかば」の啓発を図りたい
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族の訪問時に職員と一緒に対応について話し合っている、見守りはさりげなく行っている危険認知の乏しい入居者にはセンサー・鈴等を活用している夜間ふらつきのある入居者にはベッドプザーも活用している	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	4	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックや食事の様子、排泄回数など生活全般を観察し、予兆が認められた時は緊急受診を行い未然に防止している 母体が医院であり同一敷地内にあることから、日々の変化を気軽に相談できている	1	ちょっとした変化でも申し送りをし、主観的に判断せず、主治医に相談し、結果については記録に残しておく
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬包の名前・日付をよく確認し誤薬を防止している服薬後の状態についてはよく観察する受診後は「受診ノート」に記録し、口頭申し送りも行う薬情は個別ファイルに綴じ込み、いつでも閲覧できるようにしておく	1	服薬によって症状に変化が現れた場合は、その旨、随時、主治医に報告する
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個々の排泄状況を把握し、便秘症状が認められた場合は、事前に薬剤が処方されていれば服薬していただく 日常的な便秘対策として適度な水分補給、体操などの運動、繊維質の多いものの摂取、おやつに果物などの対策を行っている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時・入床時、食後にうがいや義歯の洗浄をおこなっている 週1回歯科往診により口腔ケアを実施している	1	食後の口腔ケアを徹底していきたい	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が作成した献立表により食事を提供している 食事の摂取量や水分量を記録しているお茶がいつでも飲めるようテーブルにポットを置いている 夜間は配茶している	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルを作成している 入居者全員がインフルエンザ予防注射を受けている 玄関に手洗いうがい用の洗面台があり、面会者にも励行お願いの張り紙を掲示している 感染症入居者の排泄・入浴介助時は使い捨てゴム手袋を使用している 次亜塩素酸につけたタオルでトイレ等を掃除する	1	食事前にはアルコールペーパーで手を拭く排泄後は石鹸で手を洗う	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は委託業者より毎日届き新鮮なものを使用している 食器は洗浄後乾燥機にて熱風乾燥している まな板・ふきんは次亜塩素酸にて毎晩消毒している	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	1	
	2 生活の環境づくり	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	1	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには花を植えて明るい家庭的な雰囲気を作っている	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	月ごとの行事（月見・クリスマス）にあわせて飾り付けをし、季節を感じ取ってもらっている 食堂には行事の写真を掲示している	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには和室が隣接しソファを置いている 和室からは小学校の校庭で遊ぶ子等が見え、またそのベランダには四季折々の花が植えてあり、入居者が楽しんでいる姿を見かける 冬にはあったかい日差しが差し込みちょっとしたサニールームにもなる	0		
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具・仏壇・写真などを持ち込まれている	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	一日1回は掃除のときに窓を開放している 24時間換気装置が稼働している 室温は入居者の希望によりこまめに調節し、風邪や脱水の予防に努めている	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレには手すりが設置しており、段差のないユニバーサルデザインになっている	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室入り口には表札がある トイレ・風呂にも表札ある、注意事項をお願いとして貼り紙を掲示している	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	和室からは小学校の校庭で遊ぶ子等が見え、またそのベランダには四季折々の花が植えてあり、入居者が楽しんでいる姿を見かける 冬にはあったかい日差しが差し込みちょっとしたサニールームにもなる	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	3		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	3		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	3	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	3	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。